

公益財団法人 ひろしまドナーバンク

平成30年度事業実施報告書

(平成31年 3月31日)

本年度は、従来の活動に加え移植医療に関する知識の普及啓発を中心に、更に理解を深めてもらうための活動に取り組んだ。しかしながら、7月の豪雨災害により健康まつりや骨髄ドナー登録会などイベントの中止や、ライオンズクラブ会員およびボランティアの協力が得にくい状況となった。

献眼の推進に関する事業では、ライオンズクラブ会員に対して「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を開催するほか、出前講座を例会等で行い、献眼及びアイバンクサポーターとしての協力を仰ぐための知識向上に取り組んだ。また、昨年同様、広島県内の主要郵便局115カ所にアイバンクポスターの貼付を依頼した。

移植医療の推進に関する事業では、グリーンリボンキャンペーンを実施し、街頭キャンペーンやライトアップ等のほか、マツダスタジアムでの普及啓発や地域でのイベントに参加するなど一般県民への啓発活動を行った。また、終末期医療の選択肢である臓器提供をテーマとした市民公開講座を開催した。

造血幹細胞移植の推進に関する事業では、例年同様、ボランティアや協力団体等の連携強化を図り説明員確保への取り組みを行うほか、骨髄ドナー登録者確保のため広島県赤十字血液センターの協力のもと固定施設等でのドナー登録会の開催を行った。2月には水泳の池江選手の白血病公表により全国で骨髄バンクへの関心が高まり、広島県では2月15日以降に献血ルームでの登録会を広島県血液センターからの依頼により説明員を配置し対応を行った。

そのほか「ドナーバンク支援自販機」の設置促進への協力を仰ぎ、安定した財源確保のための取り組みを行った。

具体的な事業としては、次のような活動を行った。

管理部門

特別な寄附を頂戴するほか、従来同様ライオンズクラブ等の支援団体などからの寄附金及び眼科医療機関等に設置して頂いている募金箱、「ドナーバンク支援自販機」からの浄財により事業に取り組んだ。その他、高額寄附者には感謝状を贈呈した。

1. 一般寄付金

10,036,821円

バンク支援自販機	4,691,473
ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区	3,000,000
中国電力労働組合	1,000,000
佐々木崇暁	192,000
古吉眼科医院	112,000
三嶋弘	100,000
竹田眼科	94,500
高陽中央病院	92,000
日谷眼科	50,000
匿名希望	50,000
医療法人みなみ会星野外科クリニック	50,000
中野徹	42,000
杉本眼科医院	42,000
すぎもと眼科	42,000
中野美智子	35,500
重河康弘	35,000
藤堂眼科医院	32,005
宮田章	32,000
医療法人社団稲垣胃腸科外科クリニック	30,000
株式会社ヤマニシ	30,000
益田眼科	24,500
広銀ボランティア口座 44 件	20,343
医療法人社団仁慈会安田病院	20,000
ノバルティスファーマ株式会社	20,000
中外製薬株式会社	20,000
石本達郎	20,000
いたくら眼科	13,000
渡部朋子	12,000
皆本敦	12,000
ひがき眼科	10,000
因島医師会病院	10,000
山本薬品株式会社	10,000
医療法人広和会福馬外科病院	10,000
広島県厚生農業協同組合連合会尾道総合病院	10,000
医療法人あかね会	10,000
大塚器械株式会社	10,000
医療法人社団たかし会尾鍋外科病院	10,000
日本イーライリリー株式会社	10,000
笹田直美	9,000
アイビー眼科	7,000
小林隆幸	6,500
余頃礼子	5,000
住田利夫	5,000

○ドナーバンク支援自販機による寄附金（設置台数 44 台） 4, 6 9 1, 4 7 3 円

設 置 場 所	台数	金 額
広島大学病院 広仁会館、RI 研究棟、霞体育館、中央診療棟、臨床管理棟 3 階、 1 階待合口、2 階待合口、2 階みどりの広場、2 階エレベーター横 整形外科待合前、BF1 階エスカレーター前 *新規 6 台追加設置	11	1,760,990
広島市立安佐市民病院	2	563,253
中国労災病院	1	343,325
(株)福屋	2	339,277
木村眼科内科病院（1 階ロビー、4 階ロビー）	2	306,171
三次中央病院（救急病棟内・夜間休日出入口・バス停横）	3	172,600
戸田工業(株)（大竹工場 2、創造センター1）	3	172,374
安田病院	1	160,466
(株)ヒロテック（ドーム）	1	134,204
広島市身体障害者福祉団体連合会（広島総合リハビリテーションセンター）	1	128,046
二階堂眼科	1	86,714
株式会社ニシキタクシー	1	85,182
J A 尾道総合病院 *新規 8 月設置	1	52,523
J A 広島総合病院	1	52,440
広島市医師会	1	51,250
医療法人仁光会日谷眼科 *新規 10 月一括寄付	1	50,000
広島県医師会館	1	49,571
メリーハウス（ワタキュー）	1	44,369
寺家駅（(株)エムケイ興産）	2	24,596
つまもと眼科	1	24,536
荒木脳神経外科病院	1	24,431
松村循環器外科	1	17,518
医療法人 JR 広島病院 *新規 7 月設置	1	17,490
J A 吉田総合病院 *新規 5 月設置	1	15,951
梶川病院 *新規 6 月設置	1	7,451
安佐医師会館	1	6,745

2. 募金箱（30 施設）

7 0 0, 2 8 7 円

施 設 名	金 額	施 設 名	金 額
しみず眼科医院	89,859	山中眼科医院	15,093
森本医院	64,420	あんどう眼科	12,568
高山眼科	56,129	古吉眼科医院	12,124
藤武眼科	53,297	阿品土谷病院	11,616
井之川眼科医院	41,281	奈良井眼科	11,313
竹田眼科医院	38,963	つるが眼科	11,295
三好眼科	37,370	眼科日山医院	11,173
木村眼科内科病院	34,162	吉田眼科医院	9,316
井上眼科医院	27,642	ゆあさ眼科	7,622
二階堂眼科	24,327	阿品土谷病院	6,461
小島病院	22,785	ひらた眼科	5,083
白石眼科医院	21,946	尾道クリニック	4,893
高陽ニュータウン病院	21,000	平田眼科熊野	4,596
ひとみ眼科	18,225	山中眼科医院	3,936
興生総合病院	17,951	本郷中央病院眼科	3,841

3. 賛助会員 2, 885, 000円

法人会員 96団体 164口 (1, 640, 000円)

個人会員 289名 415口 (1, 245, 000円)

事業部門

I. 献眼移植のあっせん事業

1. 角膜提供者の募集及び登録に関する事業 (定款第4条第1号)

①献眼についての啓発用のポスター、パンフレット及び献眼申込書を広島県、市町、ライオンズクラブ、広島県眼科医会、角膜移植手術実施医療機関等を通じて県民への頒布を依頼し、献眼登録者の確保及び献眼推進運動を展開した。

また、広島県内の主要郵便局115カ所へ貼付の依頼を行った。

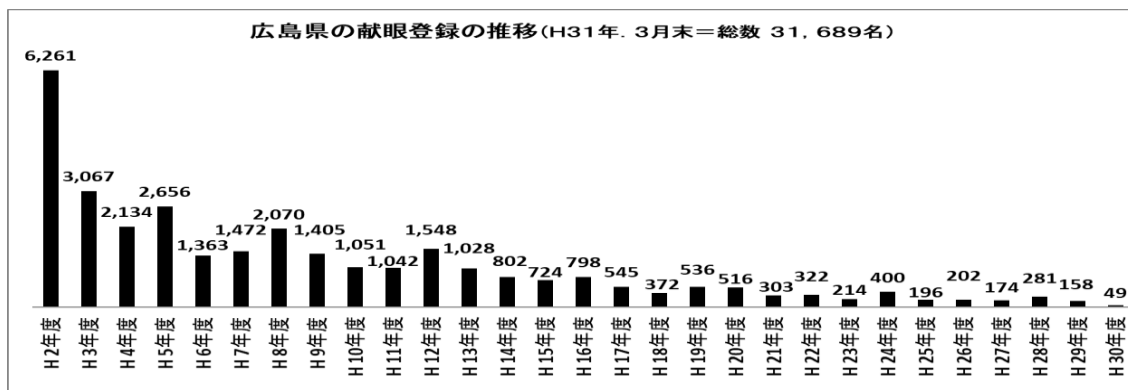
◎献眼ポスター (郵便局配布含) 420部購入 (日本アイバンク協会)

◎献眼パンフレット 20,000部作成

◎献眼登録申込書 15,000部作成

②ライオンズクラブ等が実施した献眼推進運動により送られてきた「献眼登録申込書」について、記載不備などの確認の後、登録後当該申込者に「献眼登録カード」を送付した。平成30年度の新規登録者は、234名であるものの、死亡・取消などにより、実質49名増の状況である。

広島県の献眼登録者		31, 689名 (49名増)
前年度末登録者数		31, 640名
新規登録者数		234名
献眼者数		18名
取消数 (転出・死亡等)		167名
3月末登録者数		31, 689名



2. 角膜移植希望者の募集及び登録に関する事業 (定款第4条第2号)

角膜移植希望者の募集は、従来どおり角膜移植手術実施医療機関に受付窓口を設置し、登録及び管理業務を行った。

広島県の角膜移植希望者**62名**

前年度末	手術希望者数	60名 (60眼)
新規	手術希望者数	47名 (47眼)
	移植角膜数	34名 (34眼)
	希望取消数	11名 (11眼)
3月末	手術希望者数累計	62名 (62眼)

3. 摘出角膜のあっせん及び保存に関する事業 (定款第4条第4号)

保存眼等を含み県内2施設と県外1施設にあっせんした。

①献眼数 **18名 35眼 (保存眼等5眼)**②あっせん数 **35眼 (前年度保存眼5眼)**

③あっせん先 ア 県内 (34) ; 広島大学病院 (21)

木村眼科内科病院 (13)

イ 県外 (1) ; 日本大学医学部附属板橋病院 (1)

◆全国及び広島県の献眼状況

献眼者数	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績
全 国	846	828	869	720
広 島 県	24	27	22	18

【全国第11位】**4. 献眼・献腎を含め臓器提供者への敬弔**

献眼及び献腎等臓器を提供された方に対して、ご葬儀等の席上などでホストライオンズクラブを通じて感謝状の贈呈を行うとともに、弔電、花輪をお供えて弔意を表明した。また、厚生労働大臣感謝状に供物を添えて遺族に伝達した。

①献眼者 18名 (厚労大臣感謝状伝達15名)

②献腎者(脳死提供含む) 5名 (厚労大臣感謝状伝達 4名)

II. 移植医療の推進に関する普及啓発事業**1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業 (定款第4条第3号)****1) 一般に対する移植医療に関する知識の普及啓発**

①各地のライオンズクラブが実施する献眼推進運動に啓発パネル、幟の貸し出しなどを行うことにより普及啓発活動を行った。

◎パネル利用状況 角膜 3回 腎臓 1回

◎角膜のぼり利用状況 10回

◎移植医療(臓器用)のぼり利用状況 3回

②広島県眼科医会主催の「目の健康講座」にて、パネル展の開催、献眼についての情報提供及び献眼登録ブースを設置するほか、日本アイバンク協会普及啓発DVDを上映し啓発に努めた。

日 時：平成30年10月28日(日)

場 所：広島国際会議場 B2階

③ライオンズクラブ会員に更なる献眼推進運動への理解と協力を得るため「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を広島市と福山市にて開催した。

(福山地区) 日 時：平成30年10月25日(木) 午後2時～

場 所：備後地域地場産業振興センター

出席者：受講者43名+役員

(広島地区) 日 時：平成30年11月2日(木) 午後5時～

場 所：広仁会館 2階 大会議室

出席者：受講者49名+役員

④角膜摘出協力医に関する研修会の開催

献眼が発生した際の協力をお願いするため、統一した摘出手技(角膜片のクオリティを確保)を習得すること、摘出協力医の業務をご理解いただくことを目的とした研修会を、ライオンズクラブと広島県眼科医会、広島大学病院の協力を得て開催し「献眼協力施設認定証」及び「献眼協力医認定証」を発行した。

○日 時：平成30年8月26日(土) 午前10時～

場 所：日本アルコン ウェット・ラボ 研修者：10名

⑤保健所、市町などの健康祭りへ参加し、パネル等啓発グッズの貸出しとともに、広島県臓器移植コーディネーターが自ら出向き臓器提供・移植に関する啓発活動に従事した。

三原市民健康福祉まつり(10/27) 安佐市民病院健康まつり(10/13)

おのみち市民健康まつり(11/11)

⑥出前講座により、医師、広島県臓器移植コーディネーター等が、臓器提供・移植に関する説明を行い移植医療の普及啓発を行った。

安田女子大学(5/31) 尾道市医師会看護専門学校(12/4)

広比治山女子中学校(12/20) 呉共済病院看護専門学校(1/16)

呉医師会看護専門学校(2/18) 三次看護専門学校(2/20)

皆実高等学校看護学科(3/4) 呉医師会看護専門学校(3/20)

⑦出前講座により、献眼・角膜移植に関する普及啓発を行った。

安芸高田LC(4/26)、キャビネット研修会(6/11)、広島フェニックスLC(1/28)、

⑧広島県眼科医会が主催する「マスコミ懇話会」への参加(6/7)

⑨厚生労働大臣及び広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦については、厚生労働大臣感謝状の推薦対象者がなく申請をせず、広島県知事感謝状については2名の方の推薦を行い、社会にその業績を披露した。

i 「普及啓発活動功労者」(広島県知事)

○久保田敏子(日本骨髄バンク認定説明員)

○若加 優子(日本骨髄バンク認定説明員)

⑩マツダZOOMZOOMスタジアムでの移植医療の啓発活動を行った。

○日 時：平成30年8月10日(金) 午後4時開場～

参加者：約50名

⑪終末期医療の選択肢である臓器提供をテーマとした市民公開講座を市民対象に開催した。

○日 時：平成31年2月3日（日）午後2時～
場 所：広島県医師会館 参加者：116名

⑫その他の啓発活動

i. 献眼及び臓器移植に関するドナーバンク支援自販機を積極的に設置して頂くことにより、ポスター的な意味合いでの移植医療の普及啓発を行っているが、設置台数は、新たに「広島大学病院構内6台」「医療法人 JR 広島病院1台」「尾道総合病院1台」「吉田総合病院1台」「梶川病院1台」「日谷眼科1台」の11台が設置となり、合計44台の設置となった。（年度始33台）

ii. マスコミ各社へ移植医療の普及協力を依頼した。

（中国新聞社・広島テレビ・ホームテレビ・テレビ新広島 等）

2) 啓発用のポスター及びパンフレット、バンクだより等の作成及び配布

①公社）日本臓器移植ネットワーク並びに、公財）日本骨髄バンクから提供を受けるポスター、パンフレットの配布とともに、公財）日本アイバンク協会から購入するポスター等を眼科医療機関及びライオンズクラブ等に配布して県民への啓発活動を行った。特に、公共施設、団体へ協力を仰ぎ、「ポスター」の貼付と「チラシ」の配布による普及活動を行った。ひろしまドナーバンクだよりについては、ライオンズクラブ会員に対し約3,500部の追加送付を行った。

i. 「ひろしまドナーバンクだより」（23,500部）を発刊。

ii. アイバンクポスターの郵便局への貼付（115カ所）

iii. グリーンリボンキャンペーンポスター・ステッカー等の配布や展示

協力企業等：広島県タクシー協会（5,380枚）、広島県バス協会（1,500枚）、
県内図書館（15カ所）、提供病院に展示ブース開設（23カ所）

iv. 移植医療に関する啓発グッズや資料を作成し関係方面に配布するほか、一部手製の献眼並びに骨髄ドナー登録に関するチラシをイベント等で活用して頂くために、データ資料を作成し提供した。

3) 普及啓発行事の開催・参加

10月の臓器移植普及推進月間並びに骨髄バンク普及推進月間行事を中心にNPO法人広島県腎友会、骨髄ボランティア団体などと連携し、移植医療の推進に係る活動を展開した。

①骨髄バンク普及推進月間では、広島県及び広島市などとともに「イオンモール広島府中」の協力のもと「骨髄パネル展」を開催し、最終日には骨髄ドナー登録会を実施した。

○と き：平成30年10月9日（火）～10月14日（日）

○ところ：イオンモール広島府中 1階 ムーンギャラリー

○内 容：パネル展、ボランティアによる風船及びチラシを挟んだティッシュの配布、
集団登録会（新規登録者29名）

②ひろしま国際平和マラソンにて、移植医療をデザインとしたTシャツを着用し、ドナー、レシピエントが参加し、完走することにより、移植医療の普及啓発活動を行った。また、主催者の協力のもとブースを設置し、パンフレット等の啓発グッズを配布するほか、カープ球団の協力で作成したオリジナルピンバッチを配布した。

○日 時：平成30年11月3日（火・祝）コカコーラウエストスタジアム

○企画名：ひろしまグリーンリボンマラソン 2018

③グリーンリボンキャンペーンとして、施設のライトアップやパネル展、パンフレット等の配布、グリーンリボンドライバーステッカーの貼付により普及啓発を行った。

○広島駅の協力のもと駅南口にて街頭キャンペーンを開催し、パンフレット2,000部の配布を行った。（実施日：10月16日）

○本通り商店街アーケードおよび福屋広島駅前エールエールA館のライトアップの協力をいただいた。（期間：10月16日（水）～10月22日（月））

2. 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業

（定款第4条第7号）

造血幹細胞移植の推進に関する事業

造血幹細胞移植の推進のため、広島県赤十字血液センター、広島県、広島市と患者家族の会「つばさの会」「がんの子供を守る会」「広島国際大学骨髄バンク推進委員会しずく」「山陽女子短期大学」などのボランティア団体等と連携し、骨髄ドナー登録者の確保事業に取り組んだ。

①説明員養成研修会を開催し、広島国際大学しずくから新たに4名の方に説明員の資格取得に関する説明を行った。

ア 養成研修会（6/20=4名） イ 実地研修会（適宜）

②説明員養成研修会を開催し、山陽女子短期大学から新たに15名の方に説明員の資格取得に関する説明を行った。

ア 養成研修会（6/4=15名） イ 実地研修会（適宜）

③一般からの新規説明員の確保のため3名の資格取得に関する説明を行った。

④骨髄ドナー登録者の確保対策への協力

公財）日本骨髄バンク等が主体として、実施する骨髄ドナー登録者の確保のため、骨髄ドナー登録会を開催した。

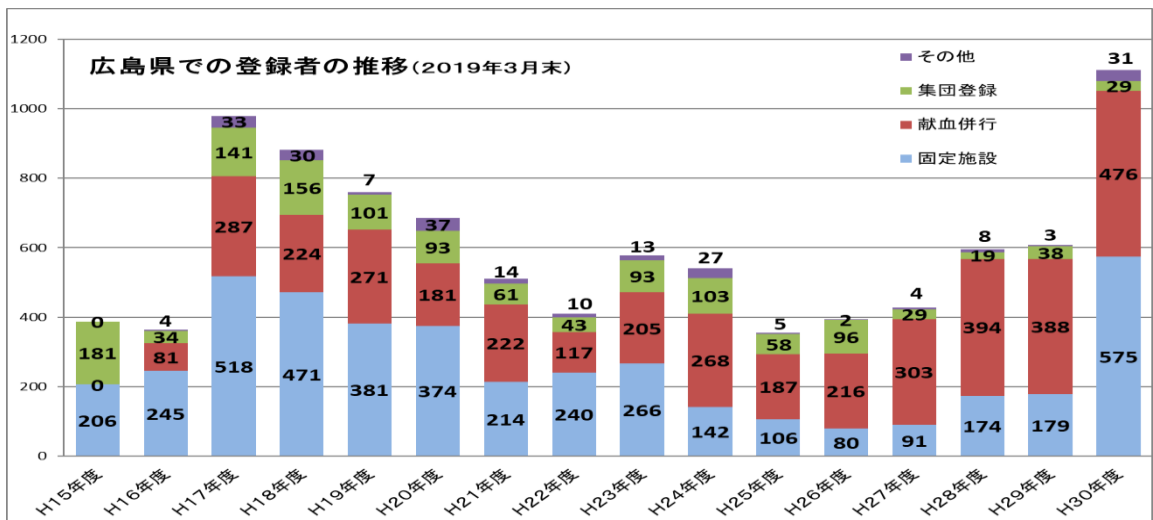
また、水泳の池江璃花子選手の白血病公表により全国で骨髄バンクへの関心が高まり、広島県では広島県血液センターからの依頼により、2月15日以降に献血ルームに説明員を配置し対応を行った。24日までの10日間で広島市内2カ所の献血ルームでのドナー登録者数は263名（そのうちの50名は年間計画の献血併行型登録会に含む）で、広島県における新規ドナー登録者は1,111名であった。

全国では2月のみで11,662名のドナー登録が有り、昨年度の新規登録者数を超えている。

◆広島県における新規登録者数

505名（平成31年3月末現在）

登 録 会		昨年度	本年度
事前説明会	回数	0回	0回
	登録者		
集団登録会	回数	2回	1回
	登録者	38名	29名
献血併行型登録会	回数	45回	49回
	登録者	388名	476名
合 計	回数	47回	50回
	登録者	426名	505名



◆骨髄ドナー登録者数・移植希望者数・移植者数・提供者数（平成31年3月末現在）

区 分	全 国	広 島 県	
		実 数	人口1万対比
ド ナ ー 登 録 者 数	509,263 (89.7)	9,020 (全国第18位)	74.2 (全国第30位)
患 者 登 録 者 数	2,930 (国内1,347)	18 (全国第22位)	
骨 髄 移 植 者 数 (財団発足後累計)	23,002 (国内22,728)	649 (全国第11位)	
骨 髄 提 供 者 数 (財団発足後累計)	23,011 (国内22,820)	575 (全国第12位)	

注) 提供者と移植者との数字の違いは移植に至らなかった件数があるため

⑤骨髄提供・移植に関する出前講座を開催し普及啓発活動を行った。

○山陽女子短期大学(6/4) ○広島国際大学(6/20)

○比治山大学(6/21)

⑥骨髄ドナー助成制度導入のため、広島県および市町へ資料提供等の支援を行い、広島県が市町に行う助成、市町が骨髄ドナーに行う助成が導入された。

○広島市 ○東広島市 ○尾道市

Ⅲ. 移植医療推進のための医療施設における院内体制の整備等に関する支援事業

1. 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業

(定款第4条第7号)

臓器移植の推進に関する事業

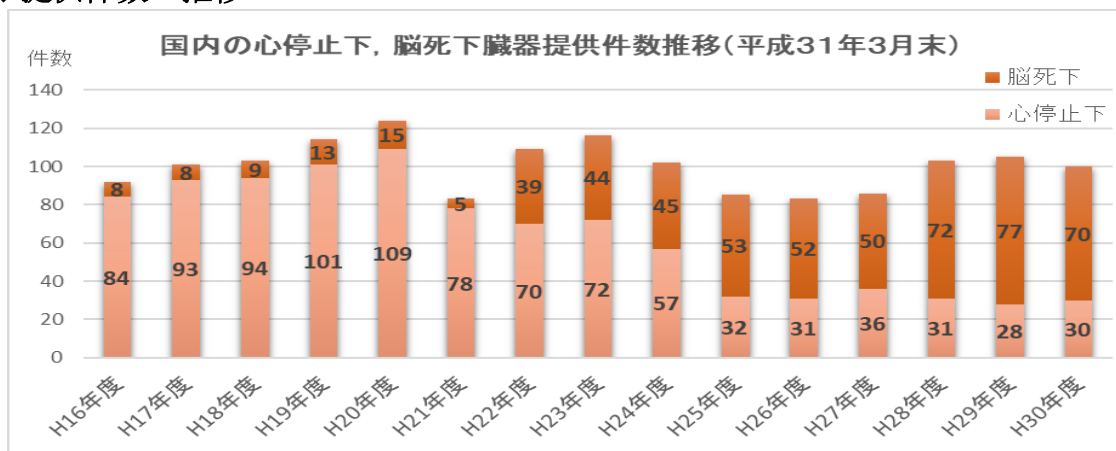
一般県民の臓器移植に関わる意識の醸成と同時に、医師・看護師等医療関係者の理解と協力が不可欠であることから、広島県行政や各病院の院内コーディネーターと共に、密接な連携を図りながら臓器移植推進に取り組んだ。

特に、院内体制整備事業に参加されたJA尾道総合病院、市立三次中央病院の院内体制整備に関わる支援を行った。

◆献腎登録者 8,975名 (35名減)

前年度末登録者数	9,010名
新規登録者数	5名
献腎者数	5名
取消数(転出・死亡等)	35名
3月末登録者数	8,975名

◆提供件数の推移



		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
脳死下提供数	全国	52	50	72	77	70
	広島	0	1	2	2	2
心停止下提供数	全国	31	36	31	28	30
	広島	2	0	0	2	3

1) 救命救急センターなどの臓器提供施設等への訪問

広島県臓器移植コーディネーターが臓器提供施設等を定期的に訪問し、ドナー情報の収集を行い、臓器提供情報を得た際には提供に向けての必要な対応に従事するほか、院内体制の整備等についての協力を行った。

①対象施設 26施設

広島市民病院、県立広島病院、広島大学病院、広島総合病院、呉医療センター、中国労災病院、市立三次中央病院、東広島医療センター、安佐市民病院、梶川病院、広島赤十字・原爆病院、マツダ病院、尾道総合病院、尾道市民病院、呉共済病院、福山市民病院、大田記念病院、興生総合病院、寺岡記念病院、荒木脳神経外科病院、一ノ瀬病院、五日市記念病院、土谷総合病院、中国中央病院、山田記念病院、三原赤十字病院

②訪問総数 61回

2) 臓器提供に関する関係者の連絡協議会等の開催及び参加

①広島県臓器提供施設協議会	1回
②院内コーディネーター研修会 (6/11, 12/10, 3/6)	3回
③提供施設における研修会	9回
i 広島市民病院臓器提供委員会 (7/11)	参加者 20名
ii 三次中央病院脳死下研修会 (8/1)	参加者 70名
iii 尾道総合病院事務担当者研修会 (12/6)	参加者 20名
iv 広島大学病院脳死下シミュレーション (12/26)	参加者 30名
v 中国労災病院手術室研修会 (1/7)	参加者 30名
vi 尾道総合病院手術室勉強会 (1/19)	参加者 40名
vii 広島大学病院事務担当者シミュレーション (2/6)	参加者 15名
viii 尾道総合病院脳死下シミュレーション (3/4)	参加者 50名
iii 市立三次中央病院脳死下シミュレーション (3/12)	参加者 30名
④臓器提供時の検視に係る研修会	
広島県警察学校での移植医療講義 (11/14)	参加者 38名

3) 院内コーディネーターとともに院内関係者への啓発活動

- ①院内研修会・勉強会への支援・協力（説明会など資料提供、随行も含む）
- ②臓器提供マニュアル作成、臓器提供シミュレーション実施への協力
- ③病院機能評価に係る臓器提供に関する説明 ほか

4) コーディネーター研修会への参加

広島県臓器移植コーディネーターが公社）日本臓器移植ネットワーク及び移植学会等が主催する研修会、学会等に参加し、最新の移植情報の収集と資質の向上に努めた。

i 日本臓器移植ネットワーク主催等の研修会（東京・大阪）	6回
ii 中国四国コーディネーター会議（山口・広島・米子）	3回
iii 日本脳死・脳蘇生学会（大阪）	1回
iv 日本移植学会（東京）	1回
v 日本看護協会臓器移植研修会（兵庫）	1回
vi TPMモデルによる臓器提供ワークショップ（香川）	1回

5) 献腎を含めた臓器提供事例が発生した場合の業務

県内で臓器提供事例が発生した場合には、広島県臓器移植コーディネーターが中心となって、(公社)日本臓器移植ネットワークの指導のもと、円滑な提供に資するため、次のような業務に従事した。

- ①臓器提供可能家族への移植医療の意義等についての説明に従事
- ②院外の摘出チーム及び移植チーム、県警等との調整に従事
- ③臓器提供に協力した施設及びドナー家族への事後報告及び移植者の経過報告等の実施

2. 移植医療機関及び摘出協力医との連絡調整に関する事業 (定款第4条第5号)

広島県臓器移植コーディネーター、骨髄説明員及び事務職員が個別に移植医療機関或いは摘出協力医師等との連絡調整を行った。

- ①角膜移植希望者の登録に関する打ち合わせ
- ②献眼の推進に関する打合せ
- ③臓器移植推進の一般啓発に関する打ち合わせ
- ④臓器提供施設への移植医療推進のための打合せ
- ⑤臓器搬送(消防・警察・広島県)に関する打合せ
- ⑥骨髄ドナー登録に関する打合せ